

4 時間目 6 年 1 組 「係を決めよう」



提案理由：係があったほうが学校生活が楽しくなるし、生活しやすくなるかなと思ったから

決まっていること：係は6～7個
一つの係に3人以上

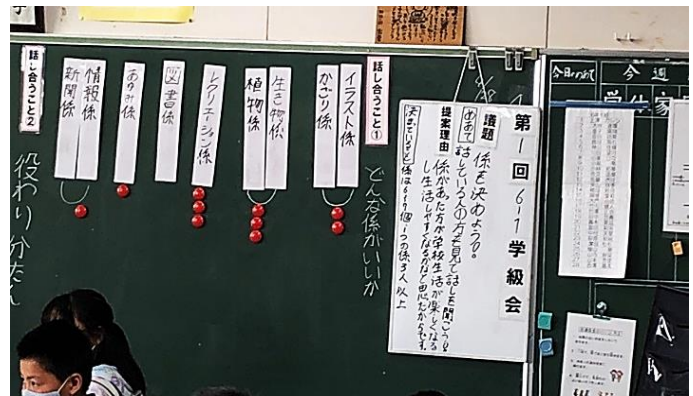
柱1：どんな係がいいか

柱2：役わり分たん

柱3：係ごとの話し合い

☆係活動をする時・
＜自分＞
・協力して活動するから、さらに仲良くなる！
・自分に自信がもてる！
・みんなに楽しんでもらえると、うれしくなる！
・友達と考えていることが分かる！
＜クラス＞
・協力して生活できる！
→その心が学校じゅうに広がる！
・学級生活がもりあがる！
・クラス全体で助け合える！

先生のお話の中で「係活動のよさ」について再確認され、係をやる意義をとらえて話し合いに臨むことができました。



柱①では、「その係があると盛り上がるから・おすすめ本の紹介があるとうれしいから」など、**友達が納得するような理由**をあげて意見を述べていました。また、**事前に各係の仕事について説明と掲示がされていた**ので、明確に共有されており、スムーズに「比べ合う」ができていました。いくつかの係が合体され、結局、出された係すべてが選ばれました。

あゆみ係
・予定表にクラスの人のたん生日をかく。
・絵をつけたす。
・学級会をやった日をかく。
・クラスの出来事をかく。

背面黒板に掲示

これをもとに、合体するか否か、話し合いが深められる場面があって活用されていました。

授業研究会から ～成果と課題について～

＜成果＞

- ・仕事内容について事前に確認できていたことがよかった。そのことが、友達が納得する理由を考えることにつながっていた。
- ・授業の流れがスムーズで、時間内にすべての話し合いができた。

＜課題＞

- ・係活動のよさについて、「今までやってきてどうだったか」なげかけることで、子どもの意見が活きて、納得して進められる。年度終わりまたは始めにアンケートをとっておいてもよい。
- ・反対や合体の意見が出されて話し合いが滞った時に、「実際にやってみたらどうか、想像してごらん」となげかけをして、自分事として捉えられるような手立てをとる。